

令和8年度 兵庫県健康財団

☐ がん研究奨励賞
☐ 腎研究奨励賞

申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 兵庫県健康財団
理事長 阪本 佳一 様

研究者名

⑩

令和8年度兵庫県健康財団 { ☐ がん研究奨励賞
☐ 腎研究奨励賞 } について、下記のとおり申請
します。

記

- 1 研究奨励賞推薦書 (別紙1)
- 2 研究奨励賞実施計画書 (別紙2)
- 3 収支予算書 (別紙3)

研究内容		
研究の題目		
研究者の職名及び氏名	職名	氏名
<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 他の医療従事者		

整理番号

推薦の理由 (用紙が足りない場合はこの用紙をコピーして使用してください。)

上記の者の研究について、推薦します。なお、応募要領 第2「対象研究」および第13「倫理委員会の承認について」の要件を満たすことを確認しました。

2 対象研究

兵庫県内において、①がんの予防と診断・治療、緩和医療及び②腎不全をはじめとした腎・尿路疾患の予防と診断・治療に関して、基礎、臨床及び公衆衛生の分野に従事している医師及び医師以外の医療従事者(看護師、技師、薬剤師等)が令和8年4月1日から令和9年3月31日の期間内に開始及び終了する研究を対象とする。ただし、次に掲げるものは除く。

- (1) 40歳以上の者(研究開始年4月1日現在)のものが行う研究
- (2) 大学・大学院の教授又はこれらに相当する職にある者が行う研究
- (3) 前年度に当奨励金の助成金を受けた研究

13 倫理委員会の承認について

応募者の所属する各機関において倫理委員会の承認が必要な研究については、研究の開始にあたり承認を得るものとする。

推 薦 者

氏 名 _____ 印

住 所 _____

職 名 _____

※文章は、番号・標題等を附し、箇条書きでわかりやすく、文字は明確をお願いします。

令和 8 年度兵庫県健康財団

☐ がん
☐ 腎

研究奨励賞 実施計画書

研 究 者			
ふりがな 氏 名	印		職 種 <input type="checkbox"/> 医師
生年月日	昭和・平成	年 月 日	<input type="checkbox"/> 他の医療従事者()
所属機関	名 称	共同研究者のあるとき	
	職 名	氏 名 (所属 ・ 職名)	
	住 所 〒		
	TEL		
◆連絡用メールアドレス			
研究題目			
倫理委員会の承認※3	① 承認を得る必要がある ② 承認を得る必要はない (該当するものに○をつけてください)		
研究課題の属する分野	① 基 礎 ② 臨 床 ③ 公衆衛生 (該当する所に○をつけてください)		
研究期間※1	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日		
研究者・共同研究者の主な実績でがん又は腎に関するもの。すでに発表した論文があればその論文名※2			
発 行			
年	月		

※ 1 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの研究を対象とします

※ 2 多数の場合は別添でもかまいません

用紙が足りない場合はこの用紙をコピーして使用してください。

※ 3 研究者が所属する各機関において倫理委員会の承認が必要な研究の場合には、承認を得られた時点で承認書（所属の様式の写し）を提出していただき、その後助成金の振込をさせていただきます。

本研究の内容

(記載例：標題を附すなどして研究目的、研究背景、研究概要、研究対象と方法に分けて記載してください)

本研究の特異性あるいは新開拓面（番号・標題を附すなどして箇条書き形式で記載してください）

本研究の学会等への発表予定

年	月	

用紙が足りない場合はこの用紙をコピーして使用してください。

収 支 予 算 書

1. 期 間 令和 8 年度 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

2. 収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研究奨励賞 助成金		がん研究奨励賞 上限 1,000,000 円 腎研究奨励賞 上限 500,000 円
合 計		

(注) 全体経費の中、助成金で賄う費用を記入のこと

3. 支出の部

科 目	金 額	備 考
例) 薬品・試薬	〇〇, 〇〇〇	
例) 旅費、参加費	〇〇, 〇〇〇	本研究に関する学会発表 「第〇回 〇〇学会」 開催地 〇〇 R 〇 年 〇 月 〇 日 ～ 〇 日 (泊 日)
例) 書籍	〇〇, 〇〇〇	購入予定書籍名 〇〇〇 ▲▲▲円
合 計		

注 1) 研究・対策に必要な試薬等購入費、旅費、消耗品費、通信・運搬費、印刷費等が対象となります。
机、いす、複写機、パソコン（タブレット含む）及びプリンター等当該研究終了後においても使用可能な備品については、助成対象外です。また、本研究に関する発表以外の学会等への参加費並びに旅費は認められません。（旅費は助成金決定額の 2 0 % を上限とします）

注 2) 助成決定後、報告書提出の際に原則として領収書原本を添付していただきます。